

『瞿麦』 目録(創刊号～29号)

号数	発行年月	論題	執筆者
創刊号	1995/4/30	『瞿麦』創刊にあたって [論文] 古今和歌集雑歌上 月・老・水の歌群配列をめぐって [レポート] 何故、桐壺更衣は亡くならねばならなかったのか [研究案内] 『落窪物語』付『落窪物語』と継子譚に関する研究参考文献目録 [疑問・質問] 『蜻蛉日記』中巻に見られる「新邸」は果たして「東三条殿」か [古典散策] 勸修寺墓参顚末	高野晴代 佐田公子 小山香織 吉川和雅子 遠山佳永 後藤祥子
第2号	1995/10/30	[論文] 生昌描写と大進生昌 宮仕え女房の生 ―その上昇意識をめぐって(一)― 日本人の美意識 ―本意と余情― [史料考証] 皇女総覧(三)―平城天皇の皇女たち―	高橋由記 石塚康絵 岩野圭子 皇女研究会
第3号	1996/4/30	[論文] 古今和歌集雑歌上巻末屏風関連歌について 花を瓶にさすこと―『枕草子』第二〇段に関連して― [史料考証] 皇女総覧(四)―嵯峨皇女(業子内親王・宗子内親王)―	佐田公子 高橋由記 皇女研究会
第4号	1996/12/20	[論文] 紫式部の自我について [史料考証] 皇女総覧(五)―桓武皇女(因幡・安濃内親王)、嵯峨皇女(正子内親王)― [史料] 惟仲・生昌年表(一)	孫佩霞 皇女研究会 高橋由記
第5号	1997/4/30	[論文] 女三宮論 ―無邪気の喪失と反復する幼さ― [史料考証] 皇女総覧(七) 嵯峨天皇皇女―全姫― [史料] 惟仲・生昌年表(二) [古典散策] 斎宮群行の道筋を辿る旅 ―平成九年三月二十日―	田辺玲子 皇女研究会 高橋由記 一文字昭子
第6号	1997/10/30	[論文] 『うつほ物語』の「花紅葉」表現 散逸物語考 ～孝標女の二作品をめぐって～ [学生自主ゼミ報告] 朝顔巻を読む ―源氏の心情を通して― [史料考証] 皇女総覧(八) ―桓武皇女(大宅・賀楽・菅原・池上内親王)、嵯峨皇女(源潔姫)― [資料] 惟仲・生昌年表(三)	稲貝直子 戸田史乃 小山香織 皇女研究会 高橋由記

第 7 号	1998/4/30	<p>[論文] 離魂の可能 —『源氏物語』の「物の怪」をめぐる 源氏物語の衣裳色彩 玉鬘の色</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(九) —桓武皇女(滋野・春日・安勅・大井・紀・善原・布勢内親王) —</p> <p>[資料] 惟仲・生昌年表(四)</p>	<p>孫佩霞 吉川和雅子</p> <p>皇女研究会</p> <p>高橋由記</p>
第 8 号	1998/9/30	<p>[論文] 少女期の紫の上—清新な子ども描写から新枕の衝撃へ— 『うたたね』の和歌から 『拾芥抄』に見える嫁娶吉日の検証</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十)—嵯峨天皇皇女(秀子・俊子・芳子・繁子・基子内親王)—</p> <p>[古典散策] 道を辿る —京都から長谷寺を詣でる旅 —</p>	<p>田辺玲子 戸田史乃 増山恵美子</p> <p>皇女研究会</p> <p>一文字昭子</p>
第 9 号	1999/6/20	<p>[論文] 玉鬘物語が孕むもの —竹河巻の位相</p> <p>[レポート] 『狭衣物語』～「左近の陣の夜行も」について宿直申しの検証</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十一) —淳和天皇皇女(寛子内親王) —</p> <p>[講座採録] 西国と『源氏物語』—玉鬘巻—</p>	<p>斎藤由紀子</p> <p>中川知香</p> <p>皇女研究会</p> <p>後藤祥子</p>
第 10 号	1999/11/15	<p>[論文] 歌枕「三笠山」の形成と発展</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十二) — 嵯峨天皇皇女(仁子内親王)・淳和天皇皇女(明子内親王)—</p> <p>[古典散策] 高野・粉河詣での道を辿る旅</p>	<p>辻純子</p> <p>皇女研究会</p> <p>一文字昭子</p>
第 11 号	2000/6/15	<p>[論文] 源順和歌論 —屏風歌における形式的享受と独創的発想— 夕霧と子供たち —子沢山な父の視点を通して —</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十三) —純子内親王・齊子内親王(嵯峨天皇皇女)、同子内親王(淳和天皇皇女)—</p> <p>[目録] 『瞿麦』創刊号から第十号まで</p>	<p>高井美和子 田辺玲子</p> <p>皇女研究会</p>
第 12 号	2000/10/30	<p>[論文] 「『源氏物語』の霊が持つ役割」 六条院における明石の御方の位置</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十四) —崇子内親王(淳和天皇皇女)、新子内親王(仁明天皇皇女)—</p> <p>[古典散策] 吉野旅行 — 道長の金峯山詣でに関連して—</p>	<p>西山智子 森田真由</p> <p>皇女研究会</p> <p>一文字昭子</p>

第 13 号	2001/7/30	<p>[論文] 『とりかへばや物語』における<月>解釈の試み 源氏物語における「独り言」の引歌 —「ひとりごつ」と「うち誦ず」と「口ずさむ」—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十五)—嵯峨天皇皇女(源貞姫から源年姫まで)—</p>	<p>小野晃子</p> <p>田辺玲子</p> <p>皇女研究会</p>
第 14 号	2001/11/30	<p>[論文] あこがれと現実と —『萬葉集』巻十九巻頭二首に見る大伴家持の情景と意識— 「源氏物語の引歌の特徴(その二)」 『古今和歌集』春歌下「山吹」歌群について [レポート] 『源氏物語』の「枕をそばだてて」—恋いわびる独り寝の男君たち—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十六)—一時子内親王、柔子内親王、高子内親王(仁明天皇皇女)—</p>	<p>遠間倫世 田辺玲子 佐田公子</p> <p>小山香織</p> <p>皇女研究会</p>
第 15 号	2002/11/30	<p>[論文] 『源氏物語・夕霧と雲居雁の幼な恋』と『伊勢物語・二十三段』についての考察 源氏物語の仏教 —横川僧都の手紙の解釈について— 源氏物語真木柱巻における「赤裳垂れ引きいにし姿を」の引歌について</p> <p>[史料考証] 皇女総覧—(十七)敦子・忠子・尚子(淳和天皇皇女)—</p>	<p>稲川晴美 山中理江</p> <p>斎藤由紀子</p> <p>皇女研究会</p>
第 16 号	2003/6/30	<p>[論文] 『源氏物語』の子ども —「暗」を照らす「明」としての存在—</p> <p>[翻刻] 本居宣長記念館蔵『あさぎの袖』翻刻</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十八)—親子内親王、平子内親王、久子内親王(仁明天皇皇女)—</p> <p>[前号訂正] 「源氏物語真木柱巻における「赤裳垂れ引きいにし姿を」の引歌について」の訂正</p>	<p>田辺玲子</p> <p>中古文学 演習Ⅰ受 講生・中古 自主ゼミ (二〇〇二 年度)</p> <p>皇女研究会</p> <p>斎藤由紀子</p>
第 17 号	2004/6/30	<p>『拾遺集』作者表記の怪 —橘忠幹は『伊勢物語』生成論の一角たり得るか—</p> <p>[論文] 和歌に見る『狭衣物語』享受の一例 —「虫明の瀬戸」と「唐泊」— 六条院女楽の色彩 —赤青対比の身分的倒錯が意味するもの— 『源氏物語』「総角」巻の哀悼表現について —釈迦涅槃の表現を中心に—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(十九)—真子内親王(仁明天皇皇女)—</p>	<p>後藤祥子</p> <p>高野瀬恵子</p> <p>森田直美</p> <p>沖奈保子</p> <p>皇女研究会</p>

第 18 号	2004/12/15	<p>[論文] 『竹取物語』と伊勢斎宮—かぐや姫の神秘性の帰結するところ— 紫式部の「身」と「心」の表現</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十)—恬子内親王・述子内親王・珍子内親王(文徳天皇皇女)—</p>	<p>宮崎美由紀 中原裕子</p> <p>皇女研究会</p>
第 19 号	2005/6/30	<p>[論文] 桐壺更衣造型の核心—『源氏物語』に於ける桐の漢詩文的意味について— 紫の上の教養 —教養の多義的機能とその挫折— 『拾遺和歌集』八三九番歌における表現の機能性</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十一)—礼子内親王・掲子内親王(文徳天皇皇女)—</p>	<p>孫佩霞 林悠子 高井美和子</p> <p>皇女研究会</p>
第 20 号	2006/1/25	<p>[論文] 源氏物語少女巻「浜木綿ばかりの隔て」の解釈について 歌語としての「やど」における空間把握とその変遷 —万葉集と古今集— 紫の上の最晩年—描かれない往生成否をめぐる— 「聴色の氷とけぬかと思ゆるを」考 『拾遺和歌集』の哀傷歌考— 一二九四番歌を考える—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十二)—儀子内親王(文徳天皇皇女)—</p>	<p>田辺玲子 時田麻子 林悠子 森田直美 沖奈保子</p> <p>皇女研究会</p>
第 21 号	2006/12/20	<p>[論文] 月を忌む —その源流— なぜ「いへ」は和歌から失われたのか</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十三)—晏子内親王・慧子内親王(文徳天皇皇女)—</p>	<p>三浦真貴 時田麻子</p> <p>皇女研究会</p>
第 22 号	2007/10/20	<p>[論文] 研究レポート『後拾遺和歌集』の女房陸奥をめぐる 玉鬘の「赤裳」が内包するもの —『万葉集』における「赤裳」とのイメージ的共通という視点から—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十三)—源馮子・謙子・奥子・列子・済子・富子・淵子(文徳天皇皇女)—</p>	<p>高野瀬恵子 森田直美</p> <p>皇女研究会</p>
第 23 号	2008/6/16	<p>[論文] 屏風歌の書かれるまで — 近世後期屏風に見る</p> <p>[フィールドワーク報告] 平安時代の筑紫を求めて—院政期和歌を中心に—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十四)—柄子女王・厳子女王・昭子女王(文徳天皇)—</p>	<p>杉本まゆ子 高野瀬恵子</p> <p>皇女研究会</p>
第 24 号	2009/7/5	<p>[論文] 『紫式部集』伝本の比較—構成にみられる相違— (附『紫式部集』対照表) 源氏物語の引歌「むべも心あるあま」藤壺と正子</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十六)—重子内親王(仁明天皇皇女)—</p>	<p>曾和由記子 田辺玲子</p> <p>皇女研究会</p>
第 25 号	2010/7/31	<p>[資料紹介] 三条西公条讃紫式部石山詣図幅について</p> <p>[論文] 和泉式部享受—勅撰和歌集との関係から</p> <p>[フィールドワーク報告] 円仁の足跡を辿る旅 —赤山法華院跡および五台山—</p> <p>[史料考証] 皇女総覧(二十七)—濃子内親王・勝子内親王(文徳天皇皇女)—</p>	<p>杉本まゆ子 片桐麻美 一文字昭子</p> <p>皇女研究会</p>

第 26 号	2011/11/30	<p>[論文] 『源氏物語』における「おぼつかなし」考 —薫から浮舟へと引き継がれる存在不安を繋ぐ感覚 光源氏の父子論 —〈父殺し〉の文学としての『源氏物語』—</p> <p>[資料紹介] 宮内庁書陵部蔵『源語図抄』翻刻</p>	<p>斎藤由紀子 原央子</p> <p>森田直美・ 赤澤真理・ 伊永陽子</p> <p>高野瀬恵子</p> <p>皇女研究会</p>
第 27 号	2012/11/30	<p>[論文] 平安期和歌への行平詠の影響 —『忠見集』の場合 『源氏物語』における女君の容姿考 —女君の「運命」と体形の連関を中心に—</p> <p>[覚書] 後冷泉朝と後冷泉天皇に関する覚書</p> <p>[史料考証] 包子内親王(清和天皇皇女)</p>	<p>斎藤由紀子 渡邊真希</p> <p>高橋由記</p> <p>皇女研究会</p>
第 28 号	2013/11/30	<p>[論文] 資経本『中務集』の一首と説話との接点 贈答歌編集の個性 —『中務集』二類本の贈答歌</p> <p>[研究余滴] 『江次第鈔』発題に見る、一条兼良の有職故実観—古注釈を知り、古典文学を読むことを見据えて—</p> <p>[史料考証] 長子内親王・徽子内親王(陽成上皇皇女)</p>	<p>加藤裕子 斎藤由紀子</p> <p>森田直美</p> <p>皇女研究会</p>
第 29 号	2015/3/30	<p>[論文] 『散木奇歌集』の「卿の殿」をめぐる考察 紫の上と「桜」 —他の植物との比較から—</p> <p>[史料考証] 清和天皇皇女 孟子内親王 附 清和天皇皇女孟子内親王史料一覧</p>	<p>高野瀬恵子 小林由佳</p> <p>皇女研究会</p>